



## 探訪 長門のい（おみ）⑤



### 青海島開発先賢の碑

青海島の観光開発に貢献した横山健堂、橋本勇一両翁の顕彰碑が、青海島自然研究路の西の入口（船越）にある。そこに建つ「横山白虹句碑」の背面の碑文がそれで、つぎのように刻まれている。

青海島開発先賢

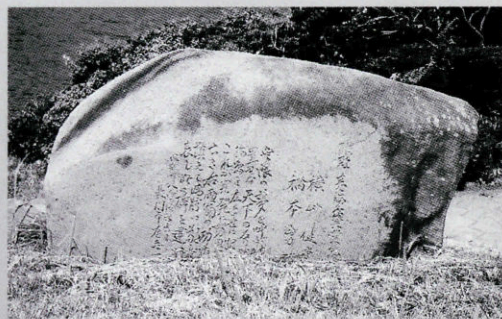
横山健堂

橋本勇一

無限の夢を呼ぶ诗情  
豊かな天下の奇勝青  
海島を広く世に紹介し  
これが開発に努めた今は  
亡き右両翁の功績を  
讃えて満腔の敬意を  
表し此の碑を建つ  
昭和三十八年清秋吉日  
長門市有志一同

横山健堂  
（本名、達三）  
の出生地は萩。

父の横山幾太  
（旧大津郡長な  
どを歴任）に  
連れられ、幼  
いころ深川湯  
本河原に住ん  
だ。明治17年  
（1884）、  
現在の向陽小  
学校に入学、  
卒業後もよくこの地を訪れた。東京帝国大  
学卒業後、大学教授や新聞記者を務めなが  
ら評論家として活躍。著作も多く、文化面  
で優れた足跡を残している。大正8年（1  
919）、青海島を「海上アルプス」と名付  
け、全国で紹介したのもその業績の一つ。  
昭和18年（1943）没。61歳。



橋本勇一翁は仙崎の生まれ。青海島の観  
光開発を最初に手がけた人で、当時の橋長  
旅館の経営者。大正3年（1914）、開発  
に着手し、「青海島観光船」も創始した。ま  
た訪れる文人墨客の観光案内も引き受け、  
地域の発展に尽くした。その業績をたたえ  
て建てられた胸像が、青海島自然研究路に  
ある。昭和36年没（1961）。73歳。

（寄稿・長門市郷土文化研究会）

## こちら 119

### 火災時、最も危険なのは煙!!

火災時に発生する煙には一酸化炭素やシアン化水素酸など有毒ガスが多く含まれており、ひと呼吸で死に至ることもあります。避難するときは次のような煙対策をとりましょう。

- タオル3回折り畳んで口と鼻を覆う。
- 透明なビニール袋などに空気をため、頭からかぶる。
- 姿勢を低くし、床付近や階段のくぼみなど空気の残っている可能性のある場所をつたう。



煙は、横に毎秒1m、上には毎秒5mというスピードで、あっという間にあたりを包んでしまいます。旅館・ホテルなどに宿泊する時は、万が一に備え、必ず非常口を確認しておきましょう。



長門地区消防本部・中央消防署 22-0119  
火災時の問い合わせ 22-1414  
メールアドレス nagato119-soumu@hotmail.com